

日本碎石協会
創立
50周年



発行

(株)コクタ

碎石部



日本碎石協会が創立50周年を迎えた。碎石は、コンクリート構造物や、アスファルト舗装、道路路盤材等として、戦後めざましい需要の伸びを示し、平成3年には、全国で4億5900万トンもの碎石が生産されました。

それまでの碎石業界は量的需要に対応することが主目的で機械化、大型化、自動化に主眼を置いた大量生産時代だったと思いません。

現在、全国生産量は2億トン台まで減少し、転機を迎えているのが現実です。これからは、量的供給責任に加えて、品質責任、環境責任、社会的責任を全うしていける業界へ脱皮できるかが問われてくると思います。

今回協会が50周年を迎える、合わせて岩手県採石工業組合が創立30周年となつた節目にあたり、あらためて業界（当社？）の健全な発展のため社員一同頑張りたいと思います。

当社から2名栄ある
永年勤続表彰



全国安全週間

準備月間

月 1 日より始まります。全国安全週間の準備月間が 6
月間も密かに入選をしていけるので今年も狙うべく頭をひねつていま
す。選集もあり、昨年当社から 2 名入
選も岩手県労働基準協会二戸支部の主催で安全標語の募
集等の様々な分野の災害防止月間は、火薬、危険物、電気
とつなげています。形式だけでなく一人一人が、身の回りの中でな
く何が危険なのかについて考
えます。何が危険なのかと思
いまと良い機会だと思います。



↑出来上がったそばを切る



↑鮮やかで綺麗な和菓子



水車小屋のしきみ すべて木製→

たので四苦八苦していました。実は、この新聞の記事は碎石部の工場長である木村が作ってあります。それを新聞にし、編集後記を私が担当しております。先日、他社の記事も載せては…と、ご提案をいただきました。読んで頂き感想を頂けるなんてありがたい！もっと頑張ろうという気になります。来月号には、ご依頼の件も載せられたらと思っています。
また、皆さんからの情報もお寄せ頂ければ…
お待ちしております。

編集後記

新聞を発行して丸一年になりました。

初めの頃は新聞作りなどしたことが無かったので四苦八苦していました。実は、この新

の記事は砕石部の工場長である木村が作っております。それを聞にし、編集後記を私が担当しております。先日、他社の記事もさては…と、ご提案をいただきました。読んで頂き感想を頂けるなんてありがたい！もっと頑張ろうという気になります。来月号は、ご依頼の件も載せられたらと思っています。
ご依頼の方へお答えする形で、皆さんからの情報もお寄せ頂ければ…
お待ちしております。



スローフード考

先月、江刺市でそば打ちの体験が出来ました。自分で作ったものには信用がおけないので、きっとまことにいんじゃないだろうと思っていたら、豈に図らんや「コシ」、「歯ごたえ」、「のどごし」町のそば屋さんより数段美味しいものが出来ました。

しかし・・・先生曰く、『そば粉が違うから』と、いうことで決して脇ではないとのこと

江刺のある部落では、現役で水車が稼動している所があり、そういうところを見せられると『おいしいもの』の原点は、人の手がかかっていることが大切な要素であることを実感させられました。

また他日、二戸の『なにあーと』で和菓子の展示会があり行つてきました。筆者が、子供の頃は甘味に飢えていて『甘い』という言葉と『旨い』という言葉がほとんど同じ意味に使われていて、冠婚葬祭の時に饅頭や和菓子が食べられるのが嬉しくて、隣りのおばあさんが死んでも食欲の方が優勢だったことを思い出しました。

和菓子も手作りで食べるのもたったいないと思うほど出来ばえでした。

浄法寺特区のどぶろく、自分で採ってきた山菜、ゆっくりとした時間の中で自然の恵みをいただくことに優る『うまい』はないものですね。